

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



No.102号

1997年11月12日

(平成9年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3,255
☎0765(72)1100 〆0765(74)0087

9月定例会

- ☆ 平成9年度一般会計補正予算 2~3P
- ☆ 常任委員会レポート 4~5P
- ☆ 一般質問——町政を問う(6議員) 6~12P
- ☆ 新議員の顔ぶれ 13P
- ☆ 平成8年度・決算審査報告 14~15P
- ☆ 傍聴席・各種団体からひとこと 16P

公職選挙法により、「年賀状」を出せませんので、
よろしくお願い致します。 入善町議会

投票

入善町長選挙

入善



黒東小学校

築後20年 黒東小学校

大規模改造に向け設計委託

9月定例会は、9月5日から17日までの13日間の会期で開かれた。一般会計を歳入歳出それぞれ、3億22万2000円を追加し、総額を109億4897万6000円とした。
国民健康保険特別会計は、755万6000円を追加し、総額を16億6545万6000円とした。
簡易水道特別会計は68万1000円を追加し、下水道特別会計は615万2000円を、農業集落排水特別会計は1036万9000円を各々追加した。
歳出の概要は次のとおりである。

築後20年を迎えようとする黒東小学校は、老朽化が目立つことから、平成10年、11年にかけて、大規模改造、地震補強工事に取り組む予定になっている。そのため設計委託料を補正した。
(673万円)

身体障害者等の住宅改善 に補助金を増額

障害者にやさしい住環境の整備が求められているおり、所得制限の緩和を図って、利用しやすい制度に改

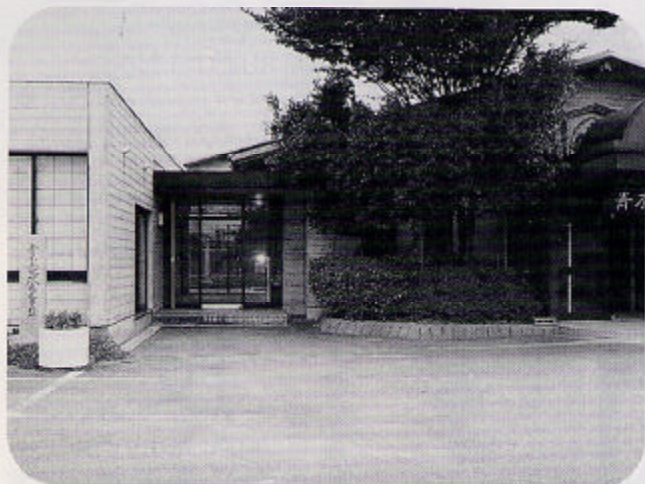
めるものである。一層のPRに努められたい。

(90万円)

旧青木土地改良区事務所は コミュニティ施設に活用

青木土地改良区が入善中
央土地改良区として統合されたことに伴い、働く婦人の家に隣接していた事務所

を町が購入し、地域コミュニティの場や、児童館的施設として活用を図る。
(500万円)



旧青木土地改良区事務所

青木公園の周辺を整備



整備される青木公園

県道青木吉原線の拡幅改良工事に伴い、青木公園、働く婦人の家、青木保育所などの一部移転、敷地の譲渡が余儀なくされたことか

ら、周辺整備を行うものである。これらの財源は全額県からの補償料を充てるが、地元と十分調整を図りながら

進められたい。

(3140万6000円)

旧警察署跡地を駐車場として整備

中央通り線の第一期工事が完了したこと、福祉会館利用者や、買物客の利便性を高めるために整備が図られる。

(1000万円)

横山・飯野保育所のボイラー等を修繕

飯野保育所の給湯配管設備と横山保育所のボイラーが老朽化し、損傷が目立つことから、修繕が行われる。

冬期間の運営に支障をきたさないよう早急に改善されたい。

(150万円)

前年度繰越金を基金積立

平成8年度決算において生じた余剰金3億3645万8000円のうち、2億円を地方債償還財源として減債基金に積み立てる。これによって、本年度末の減債基金に積み立てる。

債基金積立残高は、14億500万円になる見込である。計画的な財政運営に慎重を期されたい。

(2億円)

地区公民館に補正

集落におけるコミュニティ活動の場として活用される地区公民館の整備に対して補助されるもので、今回

は、田中公民館、小摺戸6区公民館に助成された。

(412万6000円)

舟見中学校夜間照明施設を移設

舟見地内の県道拡幅改良に伴い、夜間照明施設が3mグラウンド側に移設される。移設費用は全額県が負担する。

(207万9000円)

レポート

9月11、12日の両日、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

特に今回は、山の本陣条例の制定や、公民館使用料の一部改正、旧青木土地改良区事務所の購入などに伴う公共施設の管理運営に適正を求める意見が出された。

以下、各常任委員会の要旨を報告する。

総務

疑わしき者に支給差し止め！ 職員の退職手当等を条例改正

議案第47号入善町の職員の給与に関する条例の一部改正は、職員が退職した後在職期間中の犯罪行為が発覚した場合、退職手当、期末手当、勤勉手当の支給を差し止めることが出来る制度を新設したものである。公務員の不祥事が多発している中、支給の適正化と信頼の確保は当然の措置である。

この条例改正によって、議員の退職手当も、これに準ずることになるが、全く異存はない。更にエリを正し、住民の付託に応えていかねばならない。

まちづくり推進事業助成はもっと弾力的に

地域活性化を目的に事業を行う団体に町が事業費の1/2を助成しているが、この制度がよく知られていないように見受けられる。また申請基準が厳しく該当しなかつ

たという声もある。この制度は、町が単独で行う団体育成奨励補助であり、もっと広くPRし、弾力的、前向きな取り組みを要望する。

舟見地内の消雪工事地元負担金と町債を減額

舟見地内の無害害町づくり事業は、67・5%の国、県補助を受けることになったことから、地元負担金2

80万円と、町債1290万円が減額となった。町債の増高が懸念されるなか、適正な措置である。

文教・厚生

野中・農村活性化センターの運用は経営理念を……

野中小学校跡地は、農村活性化センターとして11月中の供用開始を目指して建

なお、減額した地元負担金は来年度になるので、地元のみなさんに十分な説明を願いたい。

設中である。

供用後の運営にあたっては、地元とよく協議され、採算性、経済性などにも留意願いたい。

「サッカーくじ」法案は国の動向を見る

「サッカーくじ」法案に反対する意見書の採択を求める陳情については、スポーツ振興財源確保のために必要であるとの意見も出たが、国会審議でも継続審査となっており、その動向を

見守るため、継続審査とした。

高齢者、身障者住宅改造補助基準を緩和

町では、高齢者や障害者の方がトイレや居間などを改造する場合、事業費（90万円以下）の2%を補助する制度を設けているが、所得制限により、平成8年度の利用者はゼロであった。このため、本年度より所得制限を緩和し、利用しやすいように改めたことは適正な措置であり評価する。制度の周知、普及を図られ、高齢者等の支援に努め

※教育委員会委員の任命

9月30日に任期満了となる佐藤久美子氏の再任に同意した。

住所 横山785-6番地
佐藤 久美子（再）
昭和10年10月17日生

※人権擁護委員候補者の一名増員の推薦に同意した

住所 棚山575番地
谷口 整子（新）
昭和15年7月15日生



完成近い農村活性化センター

常任委員会

産業・建設

山の本陣の運営は
利用者の立場で……

議案第48号山の本陣条例の制定については、申込みの方法や、使用料などの規則を見直す必要があるとの意見があった。

また観光、コミュニティ施設として利用者の立場に立った運営に十分な対応を望む。

基幹水路の堆砂は
早急に協議せよ

陳情等8号幹線水路に堆積した砂の除去については、関係機関と共同で原因を究明調査され、農業、防火等に支障をきたさないよう対応されたい。

舟見地区の消雪工事

高率補助へ移行を評価

舟見地区の消雪工事が25%の補助から、67・5%の国県補助に切り替えられたことは、高く評価する。今後とも、財源確保に当たっては、少しでも有利な国県補助で対応されるよう積極的な努力を求めます。

議員提出議案

次の意見書を国に提出した

☆道路特定財源制度の堅持に関する
意見書

道路は21世紀に向けて、活力ある地域社会の形成、豊かさゆとりの実感できる国民生活を図るうえで、最も重要な役割を果たす根幹的な社会資本である。地方の道路整備予算の確保、重点配分について特段の措置を講じるよう政府・国会に対して強く働きかけるものである。

☆急傾斜地崩壊対策事業の計画的な
実施に関する意見書

住民の生命を守る重要な事業であり、昨今の厳しい財政状況の中で、今後、一層重点的、効率的に事業を実施していくことが肝要である。よって、事業の着実な推進を図られるよう政府・国会に対して働きかけるものである。

☆稲作経営の安定と米政策の確立に
関する意見書

稲作経営の安定を図り、将来にわたって望ましい水田営農の取り組みを図るため、新生産調整推進対策の円滑な推進などの実現を、政府関係機関に強く働きかけるものである。

☆塩ビ製品等の規制及びダイオキシン
汚染問題の解決を求める意見書

塩化ビニール製品の製造に関する規制と廃棄物となったときの他のプラスチック類との分別ができる、何らかの識別方法の義務付けの措置をとるよう、政府関係機関に強く要望するものである。

一般質問

第27回定例会



新屋公民館の完成を祝う稚児舞い



ズバリ直言

町政を問う

6人の議員が登壇

9月議会の一般質問は10日、1日間で行われた。議員の任期満了に伴う最終議会とあって、町民の関心も高く、多くの傍聴者があり、盛況であった。主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 柚木町政16年間の総括と21世紀の課題を問う
- 新幹線対策をどう進めるのか
- 情報公開制度の運用の改善を図れ
- ふれあい交流プラザ(仮称)工事入札延期の背景と今後の処置を問う
- 超高齢化社会、少子化社会を迎えて、「心の教育」をいかに考えるか
- 第2回女性議会をどのように評価し、受けとめ、町政に反映するか

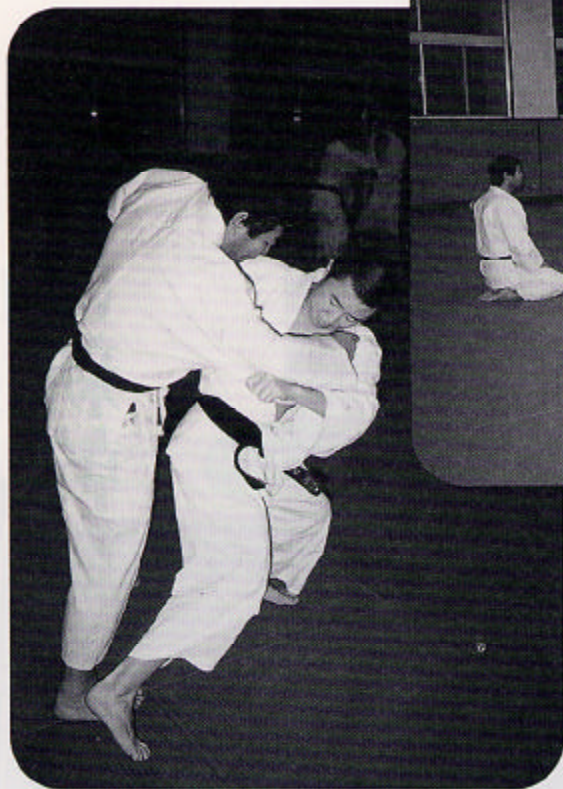
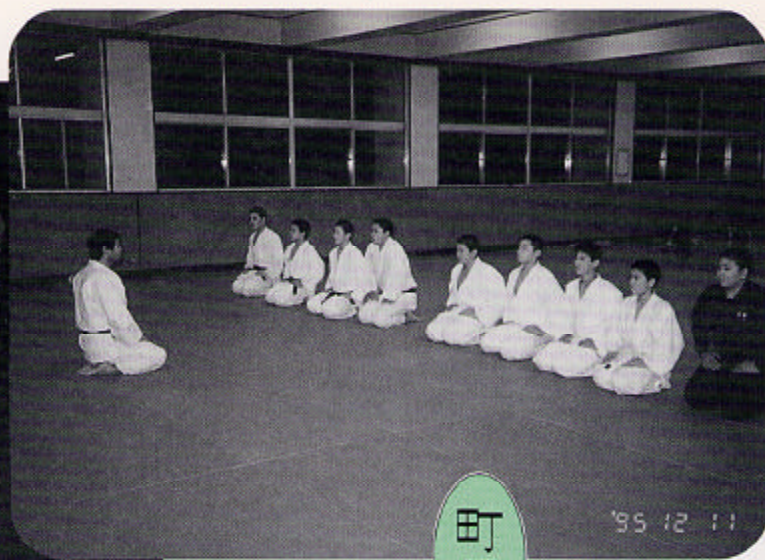
柚木町政16年間の総括と

21世紀の展望を問う

本多 幸男 議員（町民クラブ）

町長

開かれた町政を基本としてきた



柔道に青春をかける中学生

問 第5代入善町長として4期16年を振り返ってどのように総括しておられるか。

答 柚木町長 私は、町政執行の基本姿勢を「町民参加の開かれた町政」「清潔、公正、ガラス張りの町政」に置き、県下のトップを切っけて情報公開や町長の資産公開を条例化してきた。また多様化する町民ニーズに対応、町民会館、統合小学校、総合体育館、下山芸術の森をはじめ、数多く仕事を実行してきた。これは、町民各位、議会、職員の協力の賜であり、深く感謝している。

芸術文化の高揚にも力を注いできたが、5年後、10年後、評価が下されるもの

と確信している。

平成2年から取り組んだ下水道も本年から本格着工となり、ふれあい交流プラザも道筋ができ、安堵している。

問 21世紀の課題についてどのように展望されるか。

答 町長 問もなく選ばれる新しい町長が基本政策を策定し、執行するものであり、私が論ずる事柄でない。希望とすれば、地球規模での環境汚染防止と世界から戦争をなくする平和の構築が重要課題であろう。

逞しい精神力を
培うにはスポーツ
教育の振興を

問 犯罪の低年齢化が社会を震撼させている。次代を

担う人づくり、逞しい精神力を培うにはスポーツ教育を実践強化すべきでないか。

上原教育長 教育委員会もその方針で力を注いでいる。スポーツ少年団は小学生の対象者の%が加盟している。中学生の部活動は、人気種目に集中することや、専門の先生を全て配属できないなど課題もあり、今後更に改善したい。

入善町の商工会
補助金は県下で
トップクラス

問 入善町の特産品の販路発信と商店街の繁栄策、空店舗対策をどう考えるか。

町長 特産品の販路拡大は成果が出ている。これからもJ Aと協議し力を入れる。商工会の年間予算は1億2000万円余で、うち、町から3200万円、補助金を出しており、県下でトップクラスである。

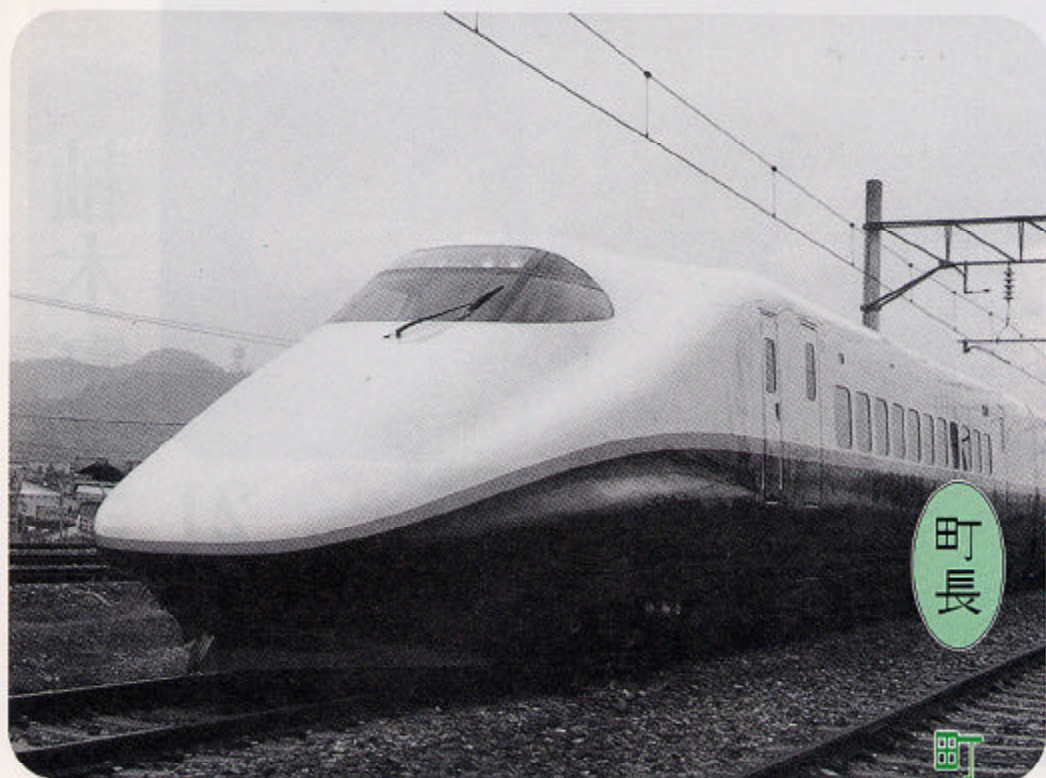
そのほか、益暮に計、3億6000万円の預託融資資金を制度化し、活用されている。空店舗対策は、大型ショッピングセンターへ進出した時点から予測された事であるが、商店主や商工会とも協議して活性化を図りたい。

町は新幹線対策をどう進めるのか

早川 誠一 議員（新政会）

町長

町民の利益を守る立場で努力する



10月開通した長野新幹線

問 新幹線の建設で在来線が廃止されるなど、入善町にメリットがあるか。

町長 新幹線問題は平成3年に町では、新幹線対策協議会を発足し、反対の立場で2500名の署名を集めたが、知事をはじめ、県下の政財界の必要論に、町は苦渋の選択をした。住民の不安や不利益を考えればデメリットが多い。

問 在来線の運行はどうなるのか。

町長 知事は当時、在来線は第3セクターで行い、現在の運行を確保すると言ったが、いま、全国の全路線が赤字と聞く。第3セクターによる運行は、前途が暗いと思う。

問 沿線住民の日常生活や社会的環境に重大な悪影響を与える、農地の細分化、騒音振動、健康管理、日照権、景観、集落分断、その他多くの住民生活を守る対策が必要だが、今後どう進めるのか。

町長 沿線の農地や生活面での不安、不利益は予想される。建設は鉄建公団が事業主体であり、県は委託を受けて用地の買収事務を行う。町は、公団や県の言いなりになるのではなく、今後も引き続き町民の利益を守る立場で取り組んで行く。

今後の転作拡大に
どう取り組むか

問 今年も豊作で転作の拡大が予想されるが、町では、今後の転作の在り方、転作拡大にどう対応するのか。

町長 転作は多くの問題を抱えている。米が多く穫れる中で、輸入されるということでは、農政の矛盾である。しかし、現在、補助事業などの導入には、転作が条件となっている。今の現状では転作を受け入れざるを得ない。しかし、農家の生産意欲を放棄させるような施策に疑問を持っている。これは町だけで解決できる問題ではなく、今後、転作の在り方なども含め、関係者と協議を進めながら取り組んで行きたい。

町営バスを運行する 考えはあるか

九里郁子議員（日本共産党）

町長 再来年度から運行したい



老人福祉センターへ向かう福祉バス

問 町営バスの運行は、高齢者や子どもなど交通弱者の生活手段としてだけでなく、商店街や町の活性化にもつながると考える。企画財政課長は先進地を視察した後、どのような検討をし

たか。来年度の予算措置を考えているのか。

町長 来年度予算で調査費をつけ、町民参加による検討委員会で十分検討し、再来年度から運行したい。

問 情報公開条例は、住民の知る権利を制度的に保障するものであり、行政側に情報の公開を義務づけるものである。

報道によると、町は「ふれあい交流プラザ」建設工事で、業者間で談合が行われ落札業者がすでに決まっているとの情報が数件寄せられたため、入札の延期を決めた、とある。延期は当然であり、事実関係調査の徹底を求める。

決算資料として予定価格の議会への提出を求める。

町長 条例制定時から時代は変わってきた。十分検討しなければならぬ重要な課題である。

問 全ての保育所で石油ストーブが使われているが、保育室や事務室は、安全暖房器具に換えるべきである。補修や修繕は適切に行われているか。財政課は保育所の修繕費や保育材料費を削らないよう強く要望する。

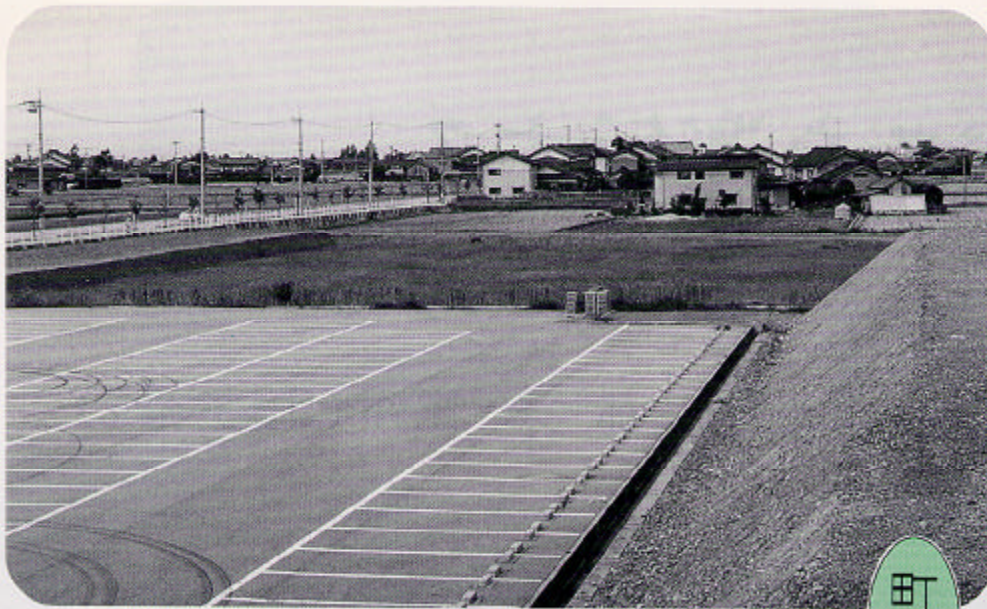
上田福祉課長 石油ストーブの60%は昭和50年代に購入した古いもので、順次更新している。築後20年経過が7か所あり、修繕費がかさんでいる。

町長 子どもの生命を守るということから大切な課題であり、意見を十分反映していきたい。

問 ことしの自主流通米は全銘柄で2万円を割った。政府は、米余りの事態を作り出しながら、農家に米価の引き下げとあらたな減反拡大も押しつけようとしている。

町内でも、「町の経済に与える影響は大きい」「農業をやめろ」というのか、などの声が多く聞かれる。米価下支え制度の確立、義務輸入米の中止、当面、輸入米を国内市場から切り離し海外援助などにまわすこと、学校給食用米穀値引きの継続などを、政府に求めていくべきであると考えが、その意思があるか。

町長 国に十分意見を述べていきたい。



ふれあい交流プラザ建設予定地

ふれあい交流プラザ(仮称)の入札延期の背景を問う

佐藤 学 英 議員(民 政 会)

町長

事実関係を調査するため延期

問 ふれあい交流プラザ工事の入札が延期された。議会で常に入札の公正、公平を要望しているが、背景と処置を問う。

町長 9月に入って、匿名の手紙3通、電話等で、談合入札が決まっているという情報寄せられた。事実関係を調査する必要から当分の間、入札を延期することにしました。

舟見中学校(組合立)の存続が懸念されるがその対応を問う

問 施設や設備、教材等はどうか。山崎・大塚小学校が、近々統合するというのが生徒の去就が心配だ。

町長 木造校ながら施設・設備は問題ない。入善町85名、朝日町17名、合計102名の生徒数である。統合すれば、平成14年には73名となるが、組合立の解消にならないと思う。新町長や議員で論議する課題だ。

心の教育の実態と位置づけについて

問 神戸市の小学生殺害事件や、公立小中学校のイジメが多発し、指導の難しさを反映している折、心の教育の充実を強調したい。
中島教育委員長 心の教育の充実と同感だ。心の汚染は複雑で複合的だ。家庭教育の低下、地域社会の人間

関係、大人のモラルの低下、学校生活の多忙化、親子とも自然体験の不足等がある。委員会では、指導機関を通じて道徳教育、生活指導を図り、心の教育を位置づけたい。

議員を退任するに当たり所見の一端と挨拶を申し上げます。

私は、去る6月、地区々長会に今限り議員をやめると申しました。4期を引退の節目と考え、「進む時は人に託せ、退く時は自ら決断せよ」の信念でした。16年の長きにわたり御支援賜った町民の皆様、関係各位に厚くお礼申し上げます。感謝致します。

議員生活には、様々な思い出があります。昨年6月の自民党議員総会で決定していた議長候補の私が破れ、誠に残念で忘れることはありません。議会の信用が落ち、町民の皆様の不信をかけた責任は重い。私は同志とは、自民党議員は何だったのか、約束を守る、それは法律以前の問題だと思えます。議員会は、遂に2つに分裂したのであります。終りに各位の御健康と御多幸、入善町の限りない御発展を祈念します。ありがとうございました。

新地域経済基盤強化対策 推進地域の指定に伴うメリットを問う

広瀬 喜代志 議員 (新政会)

町長

公共下水道の整備や庄助川の
改修などを行う



「心の教育」の授業

問 新地域経済基盤強化対策推進地域に新川広域圏が指定を受けたが、総合計画とどのように整合性を図る考えか。

町長 地域の選定は新川広域圏が本年4月、県に申請し、県が自治省と協議をした結果、7月24日付けで自治省が同意し、県が行ったものである。

問 入善町としては、どのような事業を行うのか。

町長 近年、日本経済は、構造的な問題に直面している。特に地域社会においては、国際的な企業体制の進展等に伴い、直接海外との競争にさらされており、今後一段と厳しくなることが懸念されている。このため研究開発支援、起業支援など、地方公共団体が行う新産業の創造のための取り組みをより一層推進する。また、技術、人材等に関する情報の共有を進めるなど環境の整備を行う必要がある。

問 この事業の趣旨は何なのか。

町長 町の総合計画の核となる事業が対象となっており、主なものとして、公共下水道整備事業、庄助川改

修などのかんがい排水事業、県道及び町道などの道路改修事業、土地改良事業、ふれあい交流プラザ(仮称)整備事業、総合スポーツ整備事業、さわやか海岸整備事業、漁港改修事業、町営住宅建替事業、新屋公民館整備事業、農村活性化センター整備事業、児童館建設事業、吉田邸移転保存事業、国際交流事業、サイン化事業などであり、町の総合計画の平成9年度から11年度に整合性を図りたい。

超高齢化社会、少子化社会を迎えての「心の教育」は

問 道徳教育の振興策について

上原教育長 道徳の時間では、親切、誠実、節度、抑制、向上心など、特に高齢化社会に対応して、ボランティア精神の向上に指導を行うよう努力したいと思っている。特に、子供達は親の姿を見て人生観、価値観を日々見習って、それを身につけていくので、親自身、大人自身が身を正すことが、「心の教育」の基本だと思う。



第2回 女性議会をどのように評価し 町政に反映するのか

東 狐 和 議員（町民クラブ）

特に簡易焼却炉の補助を止める

問 第2回女性議会をどのように評価し、受けとめ、町政に反映するのか問う。

町長 18人の議員の皆さんは各委員会を通じ、町政の様々な課題について終始真摯な態度で学習に取り組まれた。しかも時宜になつた身近かな問題をテーマに内容が掘り下げられて、大きな成果を挙げた議会であつたと高く評価したい。特に町政で取りあげるのは、①「猛毒のダイオキシン発生」のため、簡易焼却炉の補助は取り止めること。②福祉バスの運行は、平成10年度に調査費を計上し、平成11年度から実施したい。多くの課題について示唆に

富んだ意見があり、これからの町政担当者は取り入れていくことと思う。

問 入善浄化センターの早期着工と悪臭などの環境対策はどのようになっているか、3次処理までやるという考えはありますか問う。

本多下水道課長 一次処理で法的にクリアされ、処理水がどのような形でいくのか調査し、関係者で協議する。

町長 下水道のことは総論賛成だが、場所の選定となると反対する人が多いものだが、地域の方の了解を求め、10年度で場所を選定し11年度から3カ年計画で第1期工事を行う。

先進地を視察して、臭い

のないように努め、木を植えるなど、十分に環境対策に万全を期したい。

入善町都市公園の管理運営は適切か

問 入善町が都市公園を宣言して25年になるが、管理



花鉢が設置された通り

員やグリーンキーパーの方々の管理運営やその報奨費は現状に見合っているか、人手不足ではないか問う。

町長 各位にはボランティアとしてお願いし、実費を払っているが、町の公園全部に管理人を置くのはむずかしい。我々の公園であるという意識で地域ぐるみで公園管理をやってほしい。報奨費は十分検討し、人手不足はシルバー人材センターから担当課を通して対応していきたい。

問 人とふれあいを創出するフラワールードを増設する考えはないか。

町長 「通りに鉢、窓辺に花を」モテル事業として取り組み、東町通りの花壇設置を平成10年度以降に県に積極的に働きかけ、設置したい。



野坂俊一 74
(5期)
農業、下飯野



九里郁子 54
(6期)
政党役員、舟見



大林政雄 68
(6期)
土建業、舟見



石川昭男 61
(7期)
会社役員、上飯野新



広瀬喜代志 55
(4期)
会社役員、蛇沢



本多幸男 60
(4期)
会社員、上飯野



五十里隆章 55
(5期)
農業、東五十里



板川清治 62
(5期)
雑貨販売、上野



元島正隆 44
(2期)
贈答販売、上野



岡島 功 49
(2期)
会社役員、芦崎



福沢憲一 50
(2期)
会社員、福島



西尾政巳 62
(3期)
醸造業、舟見



田原 進 63
(3期)
書籍販売、入膳



袖野伸司 46
(1期)
会社員、墓ノ木



谷口一男 47
(1期)
農業、柗山



上野 等 49
(1期)
飲食業、入膳



菅田英一 51
(1期)
酒類販売、青木



谷 昌典 56
(1期)
会社員、古黒部

新議員の顔ぶれ

氏名(敬称略)、年齢、当選回数、職業、住所の順

平成8年度決算の審査報告

町のお金が適正に効率よく使われたか

平成8年度入善町歳入歳出決算認定について、5人の委員で構成する「決算特別委員会」で審査した。その概要について報告する。

審査の対象項目

- (1) 入善町一般会計歳入歳出決算
- (2) 入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 入善町老人保健医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (5) 入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算
- (6) 入善町分譲宅地特別会計歳入歳出決算
- (7) 入善町下水道特別会計歳入歳出決算

以上7件について歳入では、①町税の徴収がよくなされているか。②補助金が確保されているか。③良質の町債が確保されているか。④その他収入の確保の努力が十分であったか。を重点に審査した。

また歳出にあたっては、①支出が適法適正になされているか。②不用額は妥当であるか。③予算の流用及び予備費の充用は適当であるか。④補助金の効果が上がっているか。⑤交際費、食糧費の支出は妥当であるか。などに主眼をおき、慎重に審査した。

付帯意見

(1) 町債の妥当性と今後の動向について

最も重点を置いて審査したのは町債である。入善町の平成8年度末公債残高は97億1000万円で、公債比率14・8%、債務負担行為を含め、準公債比率は16・4%である。本年度の発行額は13億5670万円で、対前年比1億1850万円、8%の減となっているが、

重に審査した。その結果、財政運営の計画性、弾力性、積極性の視点から、次に掲げる付帯意見を見た。見を附し、適正な執行と認め、入善町議会会議規則第76条の規定により報告した。

総合計画によると、平成12年には公債残高がピークを迎える事になっており、今後の対応には、より一層慎重を期すよう付言した。

いするという立場もあり、無理無駄のない良質な公債を活用することは当然であるが、主人公である町民が何を望んでいるか。政策の選択が重要である。また、高金利の物件を低利率のものに借り換えられたい。

(2) 入善町の出張旅費等は適正であるか

世間の批判を浴びた富山県のカラ出張問題に鑑み、入善町の実態はどうであるかについて審査した。

入善町においては、旅費の口座振込や旅行命令簿の確認システムにより厳正を期しており不正はない。ただ、在勤地旅費など実態にそぐわないものは、廃止

の方向で検討すべきとの意見を付した。ただし、学校助手などが、日常業務を遂行するために、自家用車を使用しており、1km当たり37円や、支給距離の問題、事故が発生した場合の補償など、今後の検討課題とされたい。

(3) 指名競争入札制度の透明度を高め、町民から信頼される公共事業の発注を!

町が発注する公共事業の設計・落札予定価格は現在非公開となっているが、今

後、決算時に公開するよう調査研究されたい。

(4) 少子、高齢化社会に対応した施策を最優先せよ!

保育料の軽減と子育て支援事業に力を注がれたい。

高額療養費の委任払い制度を早急に実施すること。並びに交通弱者の利便を計るため、福祉バスを運行されたい。

(5) 陸砂利採取を最少限に規制し地下水保全条例の早期実施を

黒部川扇状地の自然環境を守るため、地下水保全

策を万全なものにできないか、喫緊の課題である。



墓の木地内の陸砂利採取

みなさんの請願・陳情の

ゆ
く
え

◆ 今定例会に提出された請願2件・陳情2件の審査結果は、次のとおりである。

○ 稲作経営の安定と米政策の確立に関する請願

・ 稲作経営の安定を図り新生産調整推進対策などの実現の要請のため

採 択

○ 「ダイオキシン汚染問題の解決を図るため塩化ビニール製品に対する規制の意見書提出を求める請願

・ 史上最強の猛毒物質といわれ、塩化ビニール製品の製造に関する規制などの措置が必要のため

採 択

○ 「サッカーくじ」法案（スポーツ振興投票法案）に反対する意見書採択を求める陳情書

・ スポーツ振興の財源確保の意見もあり、今後の国会審議の動向を見極める必要があるため

継続審査

○ 基幹用水路堆砂除去についての陳情書

採 択

各種団体からひとこと

「ことばの力」と情報社会

入善町商工会長

細田 正義



「ことばの力」は無量大です。たったひとつの言葉によって勇気づけられたり、幸福感に満ちあふれることがあるかと思えば、そのひとことで人生を棒に振るようなショックを受けたり、あるいは与えてしまうことがあるといえましよう。

いまや情報通信の時代となり世界は一層狭くなりつつあります。テレビの映像も言語の一つです。つまり「ことばの力」は、いろんなところで満ち溢れ氾濫しているといえるでしょう。

商工会では、昨年から新しい情報産業化の時代に乗り遅れないようにと、インターネットを開設し

果の産業情報センターと結んで皆様に毎週水曜日を一日開放しています。ぜひ体験して頂きたいことのひとつです。もちろんインターネットやパソコンの講習会も適時行っています。会員以外の方でも参加できますからこれもご利用ください。また、十月二十日から十一月八日まで銀座商盛会の空店舗にて「インターネットプラザ」を開設しています。とにかく、のぞいて見て下さい。初めての方大歓迎です。新しい自分と新しい自分のことば(世界)に出会えるかもしれませぬ。

「ことばの力」の發揮する大切な場所とっていいでしょう。広く町民等に議員の動向や議会のあり方を知らせ、個々の町民の意識を町政によびもどされる私たちが、たえず関心をもち続けていくうえでも、ぜひ続けて頂きたいと思っています。

ただ、活字の大きさが気になることと、できれば町民からのたとえ些細な質問であれ、それにわかりやすくこたえて頂くコーナーや住民発言の場を設けて頂くこと(傍聴席からひとこと)は良い企画だと思ふ。より親しみの持てる広報になる、そんな気がします。

読者としての勝手なことばかり主張しましたが、商工会におきましては商業、工業共に大変な時期です。特に商業界は規制緩和による大型店の進出で街の小規模な小売店は自助努力も限界に達していると言っても言い過ぎではありません。

商工会としましては、今後とも町当局の絶大な力添えと議会のまっとうなバックアップに期待しながら、ふるさと入善町の発展にいくらかでも寄与していくことができよう、いつも願っております。

編集の窓

◇今年の稲作はやや良となり、米余り現象で農家にとって複雑な心境である。

米価も下落し、農業で生計を維持する人達にとっては完全な経営の危機である。

この時こそ、国は食糧自給の長期的政策を確立すべきで、農水省をなくするような行革案は国の将来を危くするものである。

◇今、国を上げて行革を叫ぶが国民を忘れた行政こそ改革すべきで、県のカラ出張も官の驕りである。知事の日本一住みよい県とは、何だったのか。県民の監視が望まれる。

◇入善町では、行財政改革の最中、町長・町議員選挙が行われた。町政の刷新を掲げた米沢政明氏が当選し、18名の選良と21世紀に向けた町民参加の町政確立が望まれる。

◇議会だよりは102号を数え、任期を終えた。長らくのご支援に感謝します。

議会広報編集特別委員会
委員長 板川清治
副委員長 本多幸男
委員 岡島 功
" 福沢憲一
" 早川誠一
" 九里郁子

傍聴席からひとこと

永山清美さん

(横山)



町議会の傍聴は前から望んでいましたが、勤めていた私にはそんな時間がありませんでした。今度、町議会を傍聴できる時間が持て、おそろおそろ議場に行きました。傍聴席は少し高い場所になり、議場が一望できるようになっています。少し空席が多いなあと思ひながら座りました。

今期の議会は、任期満了の最後の議会とあつてか真剣な質疑応答が交される中に、お礼の思ひを述べられる方、また再会を

願う挨拶をなさる方等、真剣な議論には、ほど遠いように感じられました。

町議会は町民の生活に直結していると考え、町民の誰もが関心を持って議会を傍聴し、自分が選んだ議員さんがどのように活躍なさっているか、しっかりとみつめ、自分も選ぶ責任を持ちたいと思ひました。

「ことばの力」は無量大です。たったひとつの言葉によって勇気づけられたり、幸福感に満ちあふれることがあるかと思えば、そのひとことで人生を棒に振るようなショックを受けたり、あるいは与えてしまうことがあるといえましよう。